

NVC Monthly



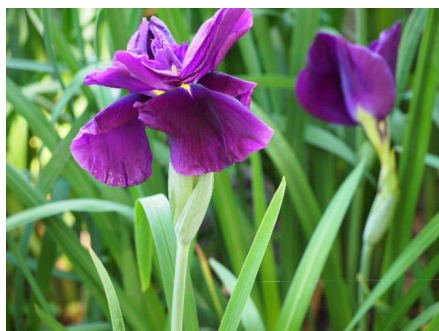
寝屋川映像同好会会報

第13号(20100618)

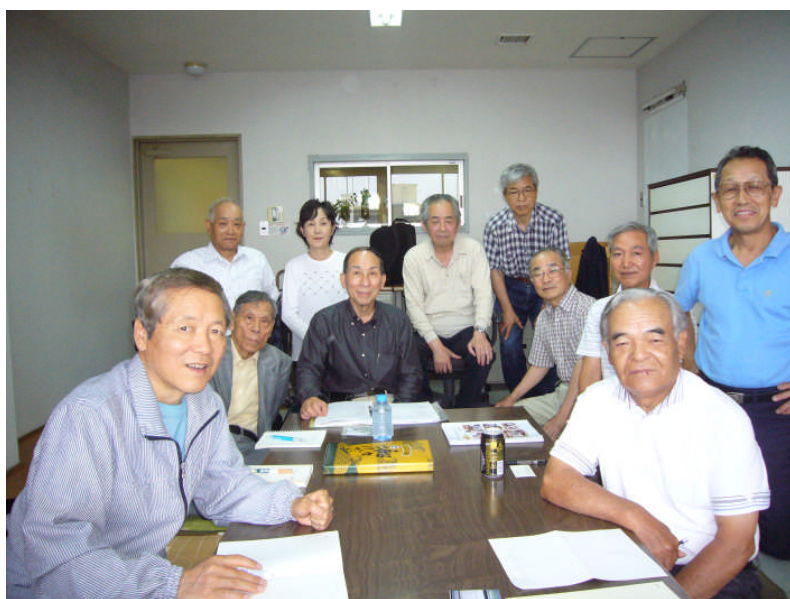
発行 竹田幸男

山田池撮影会開催

6月9日(水曜日)寝屋川市映像協会と共同で企画した山田池撮影会を実施、映像協会から9人、映像同好会からは新井、谷、小笠原、竹田の各氏が参加、ほかにも会員外から男性1人女性4人が参加して実施されました。当日は好天に恵まれ、それぞれ良いシーンが撮れたことでしょう。12時に門前に集合、解散ののち池の傍で昼食をとり、午後も引き続いて撮影する姿も見られました。



6月例会の開催



6月例会は通常より1週間遅れて6月18日(金)に開催、当日は開会に先立ち、尾藤さんに代わり新しく映像同好会担当地区委員に就任された鈴木欣也さんから挨拶を頂きました。「例会の窓参照」

例会の窓

日時：平成22年6月18日（金）13：30
～16：30

場所：寝屋川市民活動センター 4階 こども室

出席：松愛会寝屋川支部一斑地区委員 鈴木欣也さん
天野 新井 石田 小笠原 梶本 竹下 竹嶋 竹田
谷 田淵（会員全10名・敬称略）

例会次第（今回の要約 竹嶋氏）

1．各会員の最近の活動状況・情報交換

「映像同好会」の担当役員をして頂いていた寝屋川支部の尾藤さんが地区委員を退任されました。（お世話になり有難うございました）

後任の鈴木さんが引き続いて当同好会の担当役員をして頂くことになり、本日の例会に出席されご挨拶を頂きました。（今後ともよろしくお願いします）

全会員が元気出席して開催出来た久しぶりの例会となりました。

2．報告・連絡・協議事項

山田池撮影会の結果

- ・6月9日（水）竹田会長初め当同好会からは新井・小笠原・谷さんの3名が参加。小笠原さんが早速作品に仕上げ例会に持参。

映像協会公開録音会の結果

- ・ナレーションの方法やポイントがよく理解出来たと思う。
例：ナレーションの録音時はマイクから離れて、恥ずかしがらず元気に大きい声で入れるのがポイント。
- ・これからも続けて行きたい。

平野郷撮影会

- ・大阪市平野区の街並み保存の地域活動を取材・撮影することを寝屋川映像協会との合同行事として企画することにした。
- ・事前の打ち合わせや下見を先ず行う。
当同好会代表は小笠原さんが担当、協会側は上辻(かみつじ)さん予想。
なお下見の際は、会員にも声を掛けて一緒に現地に行くことになった。
- ・開催時期は今秋10月か11月の見込み。

NVC Monthlyの記事筆者

- ・次号は石田さんに投稿して頂くことになった。
原稿はEメールにて竹田さん宛て1週間を目途にお願い。
- ・テーマは、例えば・言いたいこと言い・体験談・苦労話などOK。
名簿のあいうえお順に投稿して頂くことになり、次々号には梶本さんよろしく。（既投稿者は順番除外、なお飛び入りは大歓迎）

その他

- ・寝屋川市民文化際へ作品の出品(応募)をしてください。(昨年は2作品)
- ・スポーツ安全保険に入会の手続きが完了。
(8名入会、集金からの残金¥616は同好会の会計に繰り入れる)

3. 作品映写

「文化連盟60年の歩み」: 16分40秒 竹田さん

(注)SONY方式のビデオ規格(DVCA M)で録画したため今回映写が出来なかった。次回に順延。

「金剛山登山(ニリンソウを求めて)」: 7分12秒 谷さん

出た意見: ミュージック音が大きい。現地音がもっと聞きたい。

スタート時も水の音で始まったらどうか。テロップで花の名前が出るが、もう少し早目に出た方がよい。概ね画像の出だしから3秒遅れくらいが丁度よい。

タイトルの「金剛山登山」はちょっと似合わない。

「山田池の花(花菖蒲・紫陽花・睡蓮)」: 9分 小笠原さん

出た意見:ズームの頻度が多い。パンもは右から左ばかり、反対も取り入れたら良い。三脚のガタのためかパンがぎこちない。

最初のタイトルは出方が面白いが往復しないでどちらか一方にした方がよい。

菖蒲の花が一輪のみアップしている場面は引き立ってよい。「心の花」の表現もいい。「映像研究会」(実在?)などの固有組織名は正確にして欲しい。

撮影会後の小笠原さんの仕事の速さに皆んな感心。

4. 会員の当面する問題点の質疑応答

- ・梶本さんの編集環境について皆さんからアドバイス。
パソコン(セブン7)とビデオカメラとの接続インターフェイスのアイデアを募集。アナログ出力 デジタル信号(A/D変換)にしてUSB接続してみる?

5. その他・直近の映像関連行事の紹介など(竹田会長から)

- ・「2010日本を縦断する映像発表会」日本アマチュア映像作家連盟
7月4日(日)午後12:00~
- ・「60周年記念映像祭」京都シネクラブ 6月20日(日)午後13:00
- ・「シニアのためのビデオムービーなんでも相談」ATCエイジレスセンター
主催の行事。7月24日(土)午後13:00~

6. 次回例会

- ・ 7月9日（第2金曜日）13：30～ 於：市民活動センターこども部屋
- ・ カメラ担当：竹下さん



映像との出会い

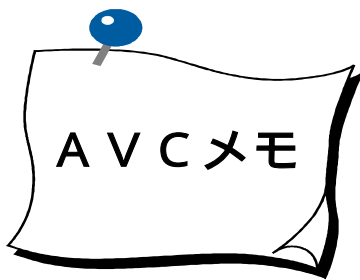
石田 昇

今から数年前、5年ごとのOB会で通工出身のAさんと同席したことに始まります。私は無線グループ内を転々と、中でもビデオ関係には約10年在籍、主にサービスを担当しました。当時は殆どが業務用、一般には手の届かない時代（昭和40年代）でした。その後いろいろ開発され、昭和63年にS-VHS式のカメラを購入、子供達、孫達をドンドン撮りまくり、溜まったテープが数十本、何とか編集して見やすいビデオに！！ずーっと気になっていた時でした。そんなときに出会ったのがAさんでした。Aさんは趣味で映像の編集をされていた。又寝屋川支部に映像同好会があると聞き入部しようと決心。どんなビデオを買おうかな？と考え考えた末、DVD式を買い、同好会の門を叩きました。

メンバーは8人、家族的で一安心。なんとDVD式は自分だけ、皆さんと話が合わない。お互い教え合いが出来ないということだった。なるほど皆さんはミニDV式（DVC）だったのです。DVC式を買うため電気店をウロウロ。新方式HDD式、SD式、DVD式等に変わる時期でミニDV式は随分安くなっていました。06年11月、パナソニックのGS500を購入することに。

作品作りには生映像が要るが、何も無い。絵画部に在籍するのを幸いに秋の写生旅行にビデオを持参する事に。絵を描く仲間達を撮って撮って撮りまくって120分、よしこれを編集して作品にするぞー。編集して10分に、110分のカットである。まず一次編集、ズームミス、足下ばかり、ゆれ大、ピンぼけ等見苦しい所すべてカット、約半分以下に短くなったが、ここからが大変。ストーリーを考え、BGMと現地音とのバランス、音量、ナレーション、タイトルの挿入、タイミングの調整等、何度も何度も繰り返し見てはカット、カット。惜しい場面も涙をのんでカットを。完成？（約10分）まで、まだまだ時間を要するのです。初めてのビデオの編集、正直疲れしました。延べ何時間要したのかわかりませんが、何とか完成。色々教えて戴き、大変勉強になりました。その後数本の動画編集作品を作り、静止画の編集も多数完成することが出来、大変満足をしています。Aさん、仲間の皆さんありがとうございました。

次の作品作りにプレッシャーが？ 昔のビデオ（アナログ）どうしよう？ 時間足りない。



1394とUSB

竹田幸男

この前の例会で、パソコンにUSB端子は付いているが1394端子が付いていないのでDVカメラからの映像の取り込みが出来ないという相談がありました。

1394とは、USBとは何でしょうか。

古くからパソコンをやっている方はご存じですが、以前はパソコン本体とプリンターや外付けのフロッピーディスクドライブなどとの接続にたくさんの小さな端子の付いた大きなコネクタが使われていました。これらはパラレルのコネクタで「パラレル」とは「並列の」という意味です。コンピュータの心臓部CPUは複数の計算を並列に行う機能があり、たとえば4つの計算を並列に行えるのが4ビット、それが8ビット、16ビット、32ビットと進化してきました。余談ですがパソコンの草創期に「マイコンキット」などと称して4ビットマイコンを使った組み立てキットが流行り、マイコンとは「マイ(私の)コンピュータ」というイメージがありました。正しくはマイクロコンピュータの略で今は「マイクロプロセッサ」と言われることが多いようです。

脱線のついでに、DVDは何の略ですか。「あたりめーだろ、デジタル・ビデオ・ディスクだ」ブーです。最初はそのつもりで考えられていたようですが、DVDの可能性はビデオに限らない、と考え直され「Digital Versatile (多用途の・多芸な) Disk」とすることに改められました。技術者ですら間違っていて覚えている人がいたので、念のため。

さて、それらCPUの出力である並列の信号を並列のまま送るのが早く送れると考えられていましたが、速度が速くなるにつれて数多くの線の中で互いの信号がずれてきて揃わなくなり、これを揃えるのに手間がかかり、結局この信号を1ビットずつ縦に直列に直して送った方が早く送れることに気がついて(急がば回れか)、シリアル伝送が花盛りとなりました。1394もUSBもいずれもシリアル信号を送るための端子で、シリアルとは「直列の」という意味です。

1394端子は、正しくはIEEE 1394 (アイトリプルイーいちさんきゅうよん) 端子といいます。アップル社が「ファイヤワイヤ」という名前で製品に採用し、日本で開発されたDV方式の信号の伝送に採用されました。端子は4端子で信号を伝え、電源線を含めた6端子のコネクタもあります。機器が



ら機器へと数珠つなぎに最大64台まで接続できるようになっています。この線で接続された機器を信号を送ってコントロールすることができ、編集ソフトの上で編集した結果を「テープに書き戻す」指令を出すとソフトの動きに合わせてDVカメラをコントロールして録画できるのはこの機能を使っています。

USBは「ユニバーサル・シリアル・バス」の略号で「万能・直列・信号経路」とでも言いましょうか。コネクタは4端子で電源も送ることができます。小さな機器のために小型のコネクタもあります。USB端子とコードを示すシンボルマークのようにツリー（木の枝）状に127台まで機器を接続することが出来ます。

最初1394は100Mb/s（每秒100メガビット）の早さから出発し200、400、800、最近では3,200メガビットまで高速になりました。これに対してUSBは最初12Mb/sと1394の方が圧倒的に早かったが、USB2.0で480Mb/sと1394を逆転し、最近出始めたUSB3.0では5Gb（ギガビット）/sと圧倒的に早くなりました。1394は特許費用がかかり、これを装着するパソコンは減っており、カメラもDVカメラが減りハイビジョンカメラはUSB接続となり、またパソコンに端子はあっても接続する相手がないという状態になっています。USBは特許はあるが無料で使えることもあり、利用が拡大しプリンタから始まりマウスやキーボード、USBメモリ、外付けのHDDやDVDドライブ、最近では扇風機なども接続できます。

話はまた脱線しますが、DVは初めてのデジタル映像を記録する機器として、何回ダビングしても殆ど原画と変わらないというデジタルの威力は、いままでVHSや8ミリビデオなどで、編集のためにダビングするごとに汚れていく映像にいらいらしていたアマチュアの間では長く望まれていた夢の方式でした。1995年発表当時は、その時代のテレビ放送と同じぐらいのハイレベルな映像、家庭用パソコンでも扱える軽い編集負荷で、私たちが手軽にプロクラスの（腕があれば、の話）編集作品を作れるようになり、アマチュア映像の発展に大いに寄与したものと思います。それが以来15年、もうカメラも殆ど売られていない状況に技術の進歩の早さを感嘆するとともに、技術の進歩が、営業政策とコラボレートして、一時的にもせよ使用者に不便を強いることもあるものだ、と強く感じるこの頃であります。（この文はメーカー関係者も読んでほしいナ）